

研究計画書（構造・材料系）

以下の要領で 2～6 ページまでの様式を用いて研究計画書を作成し提出する。

希望指導教員名と提案する研究課題名（日本語および英語）、ならびに下記(1)～(5)の英文要約（300 words 以下）を 2 ページの枠内に、それぞれ記入すること。また入学後のテーマとして提案する研究について、(1) 本研究テーマを選んだ理由、(2) 本研究の目的、(3) 関連する先行研究の紹介、(4) 研究の方法、(5) 期待される研究成果、それぞれについて 3～6 ページの枠内に記入すること。また、記入に当たっては、以下に注意すること。

(1)本研究テーマを選んだ理由

本研究テーマに興味を持った理由を、本テーマに関する問題意識、解決すべき課題、卒業研究を行っている（または行った）場合はこれとの関係の有無とともにわかりやすく記述する。

(2)本研究の目的

何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述する。

(3)関連する先行研究の紹介

関連する研究についての文献を 2 例挙げて、本研究テーマとの関係性を記述する。

(4) 研究の方法

前記(2)の研究目的を達成するにあたり考えられる手法を 2 つ挙げ、それぞれの利点と欠点を記述し、あなたはどちらを選択したいか、その理由とともに説明しなさい。

(5) 期待される研究成果

その研究目的が達成された場合、期待される学術や技術等への影響をわかりやすく記述する。

(6) その他の留意点

- (a) 文字の大きさは 11 pt、行間は自由とする。
- (b) 英文要約以外は図表等を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。
- (c) 参照論文、文献は、(i)参照順に[1], [2]のように番号を振り、(ii)本文中にその番号を示した上で、(iii)下記の記載例に従って文献を上記(1)～(5)の各項目ごとにその末尾に記載する。
- (d) 氏名・顔写真など受験者が特定できるような内容は記載しないこと。記載した場合、失格となる場合があるので注意すること。
- (e) 研究計画書は英文要約を含め 5 ページ以内とする。なお空白ページが生じても削除しないこと。

《記載例》

- [1] Paulay, T.: Moment Redistribution in Continuous Beam of Earthquake Resistant Multistory Reinforced Concrete Frames, Bulletin of New Zealand National Society for Engineering, Vol. 9, No. 4, pp. 205-212, 1976.
- [2] 建築健太郎, 白川華花: モルタル板を用いたブレースの実験的研究, 日本建築学会構造系論文集, Vol.77, No.777, pp.778-787, 2016.

(修士課程入学志願者用)

研究計画書（構造・材料系）

受験番号	(記入しない)
希望指導教員名	
提案する研究課題名	(日)
Proposed research title	(英)
(日本語および英語)	

研究計画についての英文要約（300 words 以下）

※留意事項

* フォントサイズ 11 pt

* 図表等は含めないこと

本計画書作成時には上記留意事項は削除すること

研究計画

※留意事項

* フォントサイズ 11 pt

* (1) 本研究テーマを選んだ理由, (2) 本研究の目的, (3) 関連する先行研究の紹介, (4) 研究の方法, (5) 期待される研究成果, それぞれの項目について記述する

*要約を含め5 ページを超えないこと, また空白ページが生じても削除しないこと

本計画書作成時には上記留意事項は削除すること





